



当会へのご寄付をいただいた皆さま  
令和8年1月～3月 ※順不同、敬称略

ご寄付をありがとうございました。

寄付金

東京福祉大学 13,000円 / 公益社団法人東京都豊島区歯科医師会 50,000円  
公益社団法人全日本不動産協会東京都本部豊島・文京支部 100,000円 / 日本キリスト教会豊島北教会 5,000円 / 重光寺 204,180円  
ダイオミウラ株式会社 118,060円 / 公益社団法人東京都宅地建物取引業協会第四ブロック豊島支部 100,000円  
豊島区高齢者クラブ連合会 30,000円 / 株式会社ハクビ 和紙ちぎり絵学院 33,000円  
日蓮宗東京都北部社会教化事業協会 40,000円 / 池袋本町末廣町会 20,000円 / 匿名20名 49,310円

寄付物品

台湾慈悲基金會・特定非営利活動法人国際プリアー 車イス

寄付をいただいた皆さま(敬称略)



(右)豊島区高齢者クラブ連合会の皆さま



(左)東京福祉大学の皆さま



(右)ダイオミウラ株式会社の皆さま

令和7年度  
(令和7年4月～令和8年3月)

寄付総額  
4,554,628円



## 地域福祉情報紙

この広報紙の発行には、「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」の配分金が一部充てられています。

●2026年5月15日発行  
●138,000部発行

# トモニー

第43号  
豊島区民  
社協だより



豊島区民社協キャラクター  
ふくじい

### 豊島区民社会福祉協議会とは

「社会福祉協議会」(略称:社協)は、社会福祉法により、全国・都道府県・区市町村に設置が定められた民間の福祉団体です。豊島区民社協は、区民の皆さんや福祉関係者・団体等と共に、福祉のまちづくりを目指して活動しています。

## 特集 地域の皆さんと一緒に「フードバンクとしま」を設立

### ～暮らしの土台、「食」のセーフティネットをつくる～

豊島区民社会福祉協議会では、区民や地域の皆さんと共に、「フードバンクとしま」の設立に向けて準備を進めています。令和8年6月より本格始動を予定しており、豊島区民社協は事務局を担います。



### 広がる「食」のニーズと課題

豊島区民社協は、令和3年10月より「フードバンクあったか豊島」を運営し、企業等から寄付された食品を、区内の子ども食堂などへ提供しています。

しかし、寄付された食品の保管場所や管理にかかる人員、財源の確保などが厳しく、食品の受け入れを拡大できない課題がありました。

一方で、区内で子ども食堂やフードパントリーなどを実施する地域団体や、ボランティアとして関わる区民からは、物価高騰の影響などにより食の支援を必要としている人は増えているものの、安定的な食品の確保ができず活動の継続が難しいという声が聞こえていました。



「フードバンクとしま」立上げ推進イベントの様子(令和8年4月)

### お知らせ

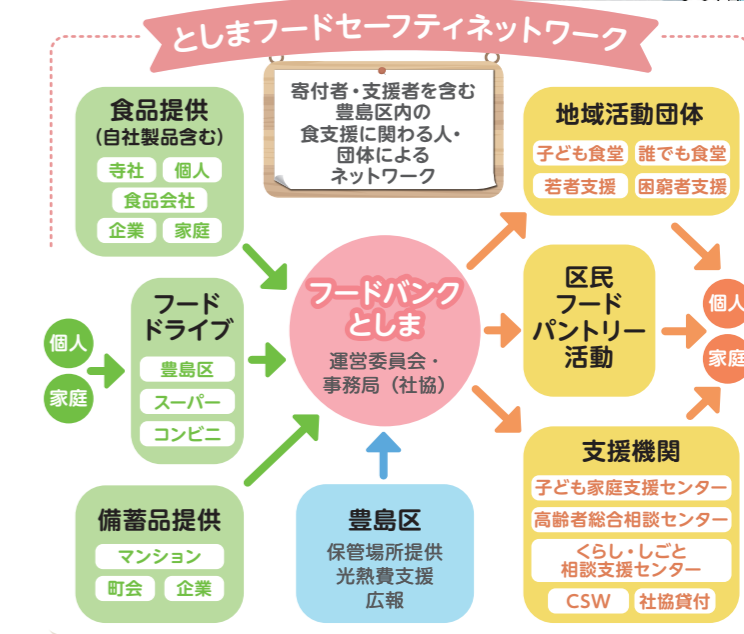
フードバンクとしま  
オープニングセレモニーを開催します!

令和8年6月8日(月) 15時～17時  
会場:区民ひろば長崎地下1階

詳しくは  
二次元コードから▶



＼応援してくれる皆さまの参加をお待ちしています!／



### 区民・地域団体とともに運営する

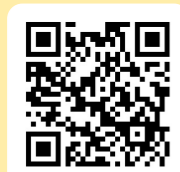
そこで、令和7年2月より、フードパントリーや子ども食堂など、豊島区内で食を通じた支援等の取組みを行う区民や地域団体の皆さんとフードバンクの勉強会を開催。豊島区から食品を保管する保管場所の無償貸与を受けることができたことなどから、区民、地域団体とともに新たに「フードバンクとしま」を設立することとなりました。

「フードバンクとしま」では、区内での食料支援に必要な量の食品を安定的に確保することで、食のセーフティネットを構築することを目指しています。

また、食品の搬出入や管理などを、生きづらさを抱える若者などの就労支援の場として活用し、支え合いの地域社会づくりを進めています。

中面につづきます▶▶▶

### ボランティア情報をご案内しています



豊島ボランティアセンターでは、noteにてボランティア情報をご案内しています。詳しくは、二次元コードからご確認ください。[豊島区民社協 note]と検索してください。

問合せ 豊島ボランティアセンター  
電話 03-3984-9375



### 広告募集

広告掲載の団体・企業等を募集しています。

規格	タテ約5cm×ヨコ約9cm	掲載料	50,000円
	タテ約5cm×ヨコ約18cm		100,000円
問合せ	総務課 電話 03-3981-2930		

広報紙のご感想、ご意見、地域情報などをお寄せ下さい。

問合せ 総務課 電話 03-3981-2930  
MAIL chiiki2@a.toshima.ne.jp



古紙パルプ配合率60%再生紙を使用

### 広告

### 「不動産を売るとき」ってどうしたらいいの? 「不動産の上手な売り方無料個別講座」開催

5月16日(土)～6月30日(火)池袋で開催  
参加無料・要予約 売却のノウハウを伝授

「三井住友トラスト不動産」では、不動産売買の悩みを解決するための無料個別講座を池袋駅の駅チカ会場で開催。当日は、不動産売買のノウハウを伝授。無料価格査定相談にも応じます◇とき…5月16日(土)～6月30日(火)午前10時～

午後5時【時間予約制・希望の日時を伝えてください】◇ところ…菊邑91ビル4階・池袋センター(豊島区東池袋1-41-6・地図参照)◇定員…各日3組(水・祝定休)◇費用…無料◇参加特典…「不動産売買ガイドブック」「不動産の税金&補助金ガイド」進呈(写真)◇講座事務局(池袋センター内)☎0120-11-9972(受付時間午前10時～午後5時)※個人情報受付けに利用します



「フードバンクとしま」のリーダーとして実際の運営や取組みに携わる國井紀彰さんにお話を聞きました。

## きっかけは、帰っても夕飯が無い “中学生の声”

私が“食”に関する活動を始めたきっかけは、大学生の時に学習支援の活動をしていた時に遡ります。それは、“部活から帰っても夕飯を食べることができない”という中学生との出会いでした。

育ち盛りの中学生が家でご飯が食べられないという現実には、“なんとかしたい”と、子ども食堂を始めたいと思うようになりました。

平成27年、豊島区内で活動する認定NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワークの協力を得て、学生主体の子ども食堂「IKEBUKURO TABLE」を開始し、現在に至っています。

私が担当します！

國井紀彰氏 (くにい・のりあき)  
IKEBUKURO TABLE  
(子ども食堂) 代表

スタッフの  
想い

## “食べる”というのは誰もが当事者

食の問題は、一番身近な問題で、人間にとって生活の根幹となる部分です。誰もが“ご飯を食べる当事者”として、みんなが参加しやすく、みんながみんなのことを考えて行動できる仕組みです。地域には子ども、障がいのある人、高齢者、外国ルーツの人など、様々な方が暮らしています。その生活基盤となる“食”を支えていくフードバンクの仕事を通じ、地域に貢献できるのであれば本望だと思っています。

## 豊島区民社協の会員になりませんか

### 会費は「フードバンクとしま」など、 地域福祉事業の財源となります。

豊島区民社協は、昭和28年8月に民生委員・児童委員を中心とした、区民の皆さまの手により設立されました。“協議会”として、地域住民の方をはじめ、様々な団体、企業の皆さまと協力をしながら、安心して生活のできる豊島区をつくる取組みや事業を推進しています。

推進の基盤となるのが、社会福祉協議会の会員の皆さまです。会費は、今回ご紹介したフードバンク事業をはじめ、様々な取組みを進める貴重な財源となります。

### 会員の区分

個人会員	団体会員	賛助会員
1口 1,000円～	2口 2,000円～	3口 3,000円～
個人単位の入会で、当会が実施する在宅福祉サービスの会費が免除されます。	団体単位の入会で、資金面での支援を目的とするものになります。	施設、企業、個人等での入会で、資金面での支援を目的とするものになります。
× 寄付金控除	○ 寄付金控除 税制上の優遇措置(寄付金控除)が受けられます。	

### キーワード ミニ解説



#### フードドライブ

家庭で余っている食品を集めて、地域のフードバンク等に寄付する活動のこと

#### フードバンク

食品寄付者から寄付される食品を受け取り、輸送・保管して、福祉施設やフードパントリー、子ども食堂等、提携している他の団体に無償で提供する活動のこと

#### フードパントリー

フードバンク、食品寄付者等から直接寄付された食品を受け取り、必要な人や家庭に提供する活動のこと

### 入会の方法

#### ●WEBサイトでの入会・決済

寄付プラットフォームサイト「Syncable (シンカブル)」のサイトにアクセスすると、入会手続きと会費のクレジットカード決済が可能です。  
※「Syncable (シンカブル)」のページは二次元コードから読み込んでください。



#### ●豊島区民社協の窓口

#### ●電話やメール、FAX

ご連絡をいただいた後、申込書、払込票を送付いたします。  
※お問合せ先は表紙下部に記載されています

## 第17回 全国校区・小地域福祉活動サミットinとしま

～多様性の都市を生きる、私たちの挑戦～

開催報告

### 東京初開催、多彩な地域活動の実践をわかちあう

令和8年2月28日(土)、豊島区民社会福祉協議会は、区民実行委員会の皆さんと共に、「第17回全国校区・小地域福祉活動サミットinとしま」(会場：大正大学)を開催しました。

「校区」とは、小学校区の略で、住民にとって最も身近な“手に届く地域”を意味します。

当日は、北海道から沖縄まで、約600名が参加しました。



全員で集合写真♪

### 地域活動は奇跡を起こすための準備

午前中は、「地域は私たちの希望になるか?」と題し、室田信一氏(東京都立大学人文社会学部准教授)が講演しました。社会全体が地域への関心を失いつつある中で、同じ志を持つ人々がつながり、地域の可能性を再確認することで生まれる前向きな力が希望であり、地域活動は奇跡を起こすための準備であるとお話しされました。

### 子どもの居場所、若者、多文化共生、企業と地域の連携、 防災など 多様性に富む9つの分科会を実施

午後は、子どもの居場所や学び、多文化共生、企業と地域の連携、新しい世代による地域活動、防災など9つのテーマで分科会を実施しました。各会場では区内の実践者による報告をもとに、世代や地域を超えた活発な意見交換や交流が行われたほか、区内で活動する21の団体によるパネル展示や物販も行われ、会場は終始熱気に包まれていました。

福井県から参加した男性は、「若い世代のボランティアへの想いや地域が違って共通する悩みなど共通することが多かった。地域の規模は違うが、自分たちの場所では何ができるか改めて考えたい」と感想を寄せていました。

今回のサミットは、若者から高齢者、外国籍住民などの参加もあり、地域が持つ可能性や力にあふれるものとなりました。



ふくいも参加したんじや

サミットの様子や分科会のレポートなど、noteで読むことができます▶



### 地域の防災活動紹介 第3弾 高松二丁目町会

#### 地域全体で防災への関心を高める “スタンドパイプ”を使用した、地域ぐるみの防災訓練

高松二丁目町会では、年2回、スタンドパイプ(毎分100L以上の放水ができる消火器資材)を用いた防災訓練を継続的に実施しています。町会内には32か所の消火栓があり、赤いカバーが目立つ“スタンドパイプ”を個人宅の玄関先など10か所に設置しています。訓練した地域住民ならいつでも使えるように鍵もかけていません。設置場所をまとめたマップも作成しています。

また、その日常的に赤いカバーを目にする事で、“火事を起こさない”という意識を常に持ってもらうことを一番の目的としています。



スタンドパイプの赤いカバーを持つ塚町会長

令和8年3月に14回目となる防災訓練が、地域の消防団や消防署の協力の下で行われ、社協職員も参加しました。事前に近隣の小中学校にも周知されていたため、親子連れから高齢者まで幅広い世代の住民が参加しました。参加者は、訓練に継続的に参加しており住民同士がつながるきっかけにもなっています。

「まずは体で覚えることが大切」という考えから、訓練では実際にスタンドパイプを消火栓に取り付けて放水をおこないました。

大規模災害時は、応援の体制整備に時間を要します。高松二丁目には、幅4m未満の道路も多く、“自助・共助”が重要となります。継続的な訓練の実施により、地域住民の防災意識の向上を目指しています。



社協職員も放水体験をしました!

noteもご覧ください。二次元コードからアクセスできます▶



### 読者プレゼント



令和8年 6/30 まで

豊島区民社協オリジナルグッズを  
抽選で5名の方に  
プレゼントいたします!

応募はこちら▶



①トモニつうしんに関するご感想・ご意見 ②今後、取り上げてほしい内容 ③氏名 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号を記載の上、掲載の二次元コードまたはメール、FAX、ハガキ等でご応募ください。 ※宛先は表紙下部に掲載しています。当選は発送をもってかえさせていただきます。 ※いただいた個人情報は商品の発送のみに使用いたします。

「フードバンクとしま」や  
会員募集に関する記事は  
noteでも読むことが  
できます。

